

平成24年度 第4回宮城県渋滞対策連絡協議会

日 時：平成24年12月21日（金）
15時30分～

場 所：国土交通省仙台河川国道事務所
2階 第1会議室

司 会：宮城県渋滞対策連絡協議会事務局
(仙台河川国道事務所 調査第二課長)

会 議 次 第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

(1) パブリックコメントの実施結果と主要渋滞箇所を選定について

(2) その他

4. 閉 会

第4回 宮城県渋滞対策連絡協議会

～パブリックコメントの実施結果及び主要渋滞箇所(案)の選定について～

平成24年12月21日

宮城県渋滞対策連絡協議会

検討の進め方

第1回協議会
7/13

混雑箇所抽出の考え方

第2回協議会
8/19

混雑箇所の抽出方法（指標設定）
パブリックコメント実施方針

第3回協議会
11/15

混雑箇所の抽出（混雑箇所素案）
パブリックコメントの募集

**本日の
協議会
(12/21)**

パブリックコメント等を踏まえた
地域における課題箇所（主要渋滞箇所）の特定

ソフト・ハードも含めた対策の検討

検討結果のとりまとめ

パブリックコメントの実施概要

■パブコメ実施対象者と回答者数

WEBアンケート

11/19 (月) ~12/5 (日) 実施

一般道路利用者

県内在住者
119名から回答

※回答者の傾向

- ・ 男性が約8割。
- ・ 30~50代が約8割
- ・ 仙台居住者が約5割
- ・ 週5回以上車を運転している方が約6割

ヒアリング・アンケート

12/4 (火) ~12/7 (金) 実施

市町村役場

24市町村
から回答

12/4 (火) ~12/7 (金) 実施

県内主要企業

7企業
から回答

- 石巻市：水産加工業(2社)
- 気仙沼市：水産加工業(1社)
- 自動車整備業(1社)
- 大衡村：製造業(1社)
- 輸送業(2社)

計=31団体

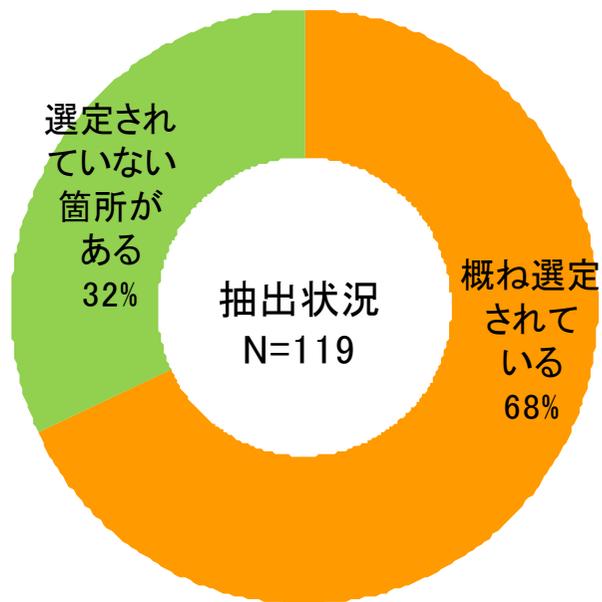
全体で 150件のコメント

Webアンケート結果考察(1)

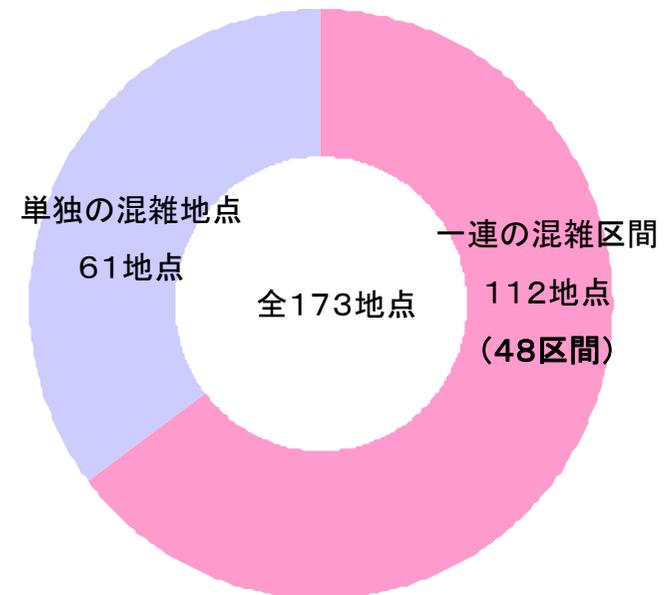
■ 混雑箇所素案に対する評価

- 協議会が提示した混雑箇所素案(全173地点)に対し約7割が「概ね選定されている」と評価
- 「概ね選定されている」と評価された方に、混雑素案箇所のうち「混雑が著しいと思う箇所」を指摘頂いたところ、全173地点のうち112地点分については複数の混雑地点を含んだ「一連の区間として混雑が著しい」と指摘された(48区間)

▼混雑箇所素案に対する評価



▼「渋滞が著しい」と選定を頂いた地点のうち「一連の混雑区間」として指摘があった混雑地点



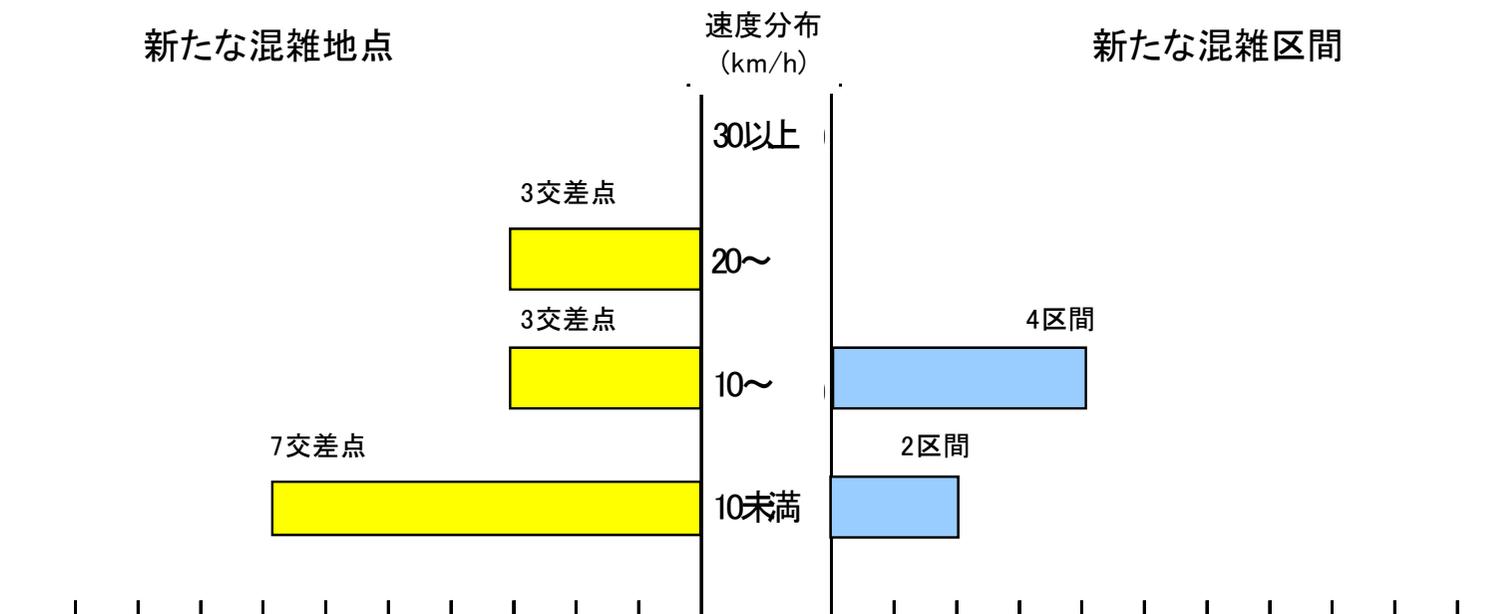
Webアンケート結果考察(2)

■追加指摘箇所に対する考察

○協議会が提示した混雑箇所素案に対し「選定されていない箇所がある」と回答を得た方から、新たな混雑区間として6区間、単独の混雑地点として13地点、あわせて19箇所についてあらたな指摘があった

○指摘箇所について時間あたりの最低速度を分析したところ、混雑区間については区間内にあるそれぞれ交差点で流入速度が約10km/h前後となっており、単独混雑地点については流入速度が概ね20km/h以下であり、いずれも低い速度となっていることが確認された

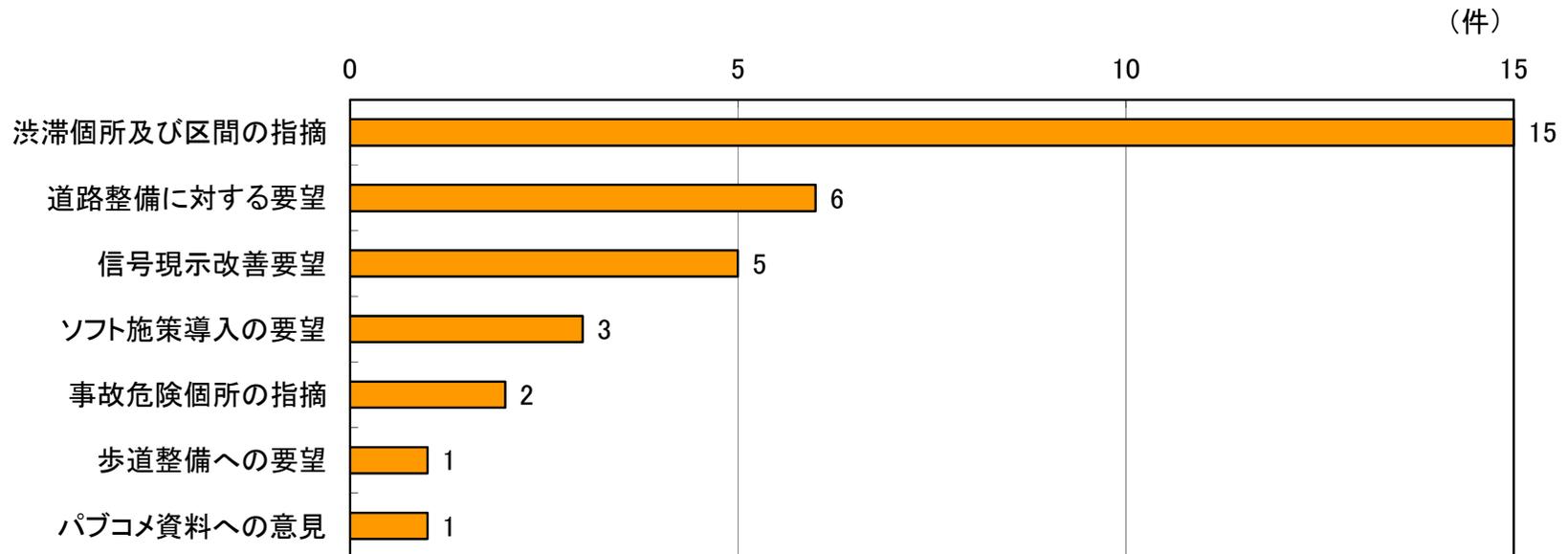
▼新たな指摘箇所の交通状況



Webアンケート結果考察(3)

■自由意見として道路交通問題や今後の道路整備について頂いた意見

▼自由意見での指摘項目



【主な意見】

■渋滞箇所及び区間の指摘

- ・市街地部を通ってもバイパスを迂回しても渋滞しており不便。
- ・交差点で右折レーンが短く2~3km渋滞することもある。

■道路整備に対する要望

- ・国道の2車線の道路でボトルネックとなっている。経済の発展を図るためにも早期に4車線化が必要である。
- ・東日本大震災を踏まえ横軸としての機能を十分発揮するとともに冬期間の通行が確保して整備することが重要である。

■信号現示改善要望

- ・適切な信号サイクルを設定することで渋滞は緩和されると思います。

市町村及び企業ヒアリング結果考察(1)

■今後の取りまとめに係る参考意見を得るべく、市町村及び主要企業などに対しヒヤリングを実施。

- 県内24市町村と地元から紹介頂いた県内の主要企業7社に対し、経済活動や地方での生活を支える主要な道路について問題認識や今後の道路整備についてのニーズについてヒヤリングを実施。
- 市町村からは幹線道路のネットワーク未整備に起因した渋滞を懸念される意見が多い
- 企業からは幹線道路における安定した通行確保(通行止め・規制の縮減)に対するニーズが高い

【市町村からの代表的な意見】

- ・道路ネットワークの未整備のため、市街地に交通が集中する
- ・一箇所毎の渋滞は厳しくないが、移動時間が長い都市間では渋滞時間が累積し、大きな時間ロスとなっている

【企業からの代表的な意見】

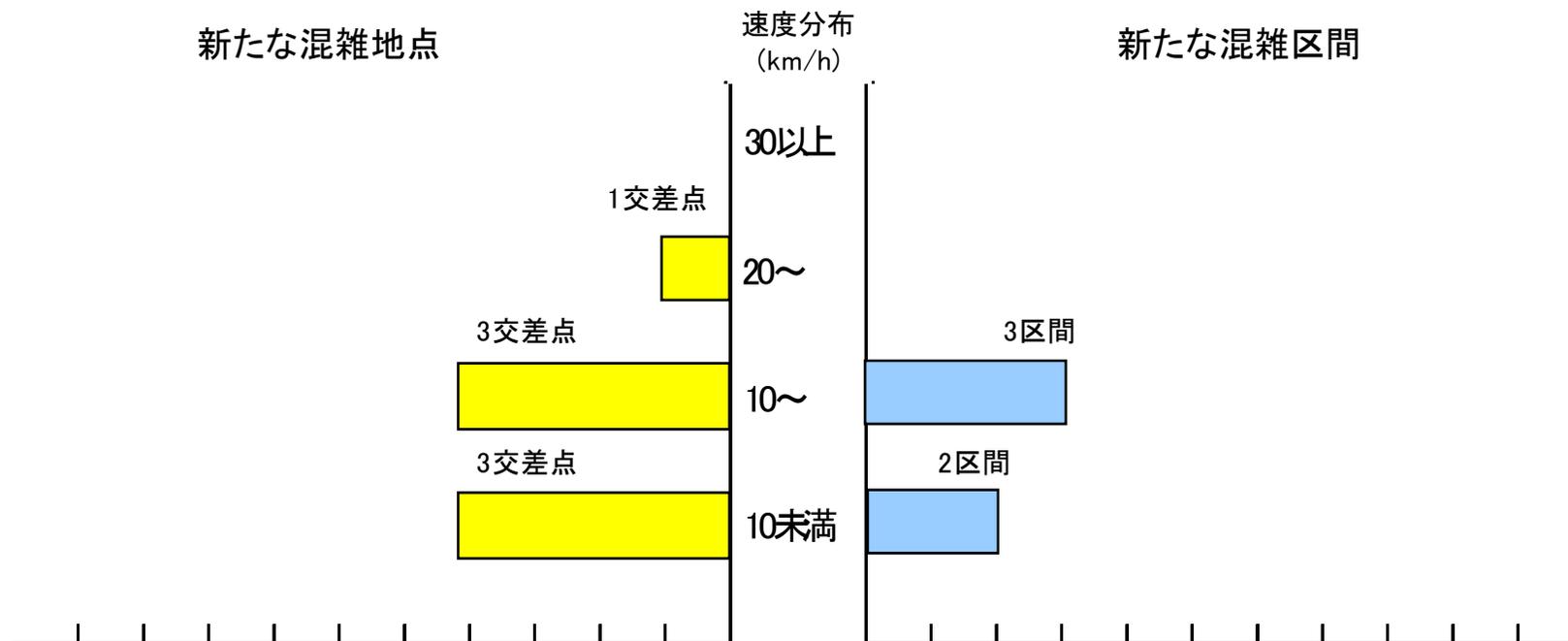
- ・トレーラーでの輸送を行っているため、特車の通行許可が必要。必然的に幹線道路の利用に限定されるにも係わらず、突然の通行止めが生じる場合は円滑な企業活動を行う上で障害
- ・大型車は幹線道路が渋滞してるといっても、急遽裏道等の狭隘な経路を選択する訳にはいかない
渋滞が生じた場合は定時運行が困難

市町村及び企業ヒアリング結果考察(2)

■市町村及び企業からの追加指摘箇所

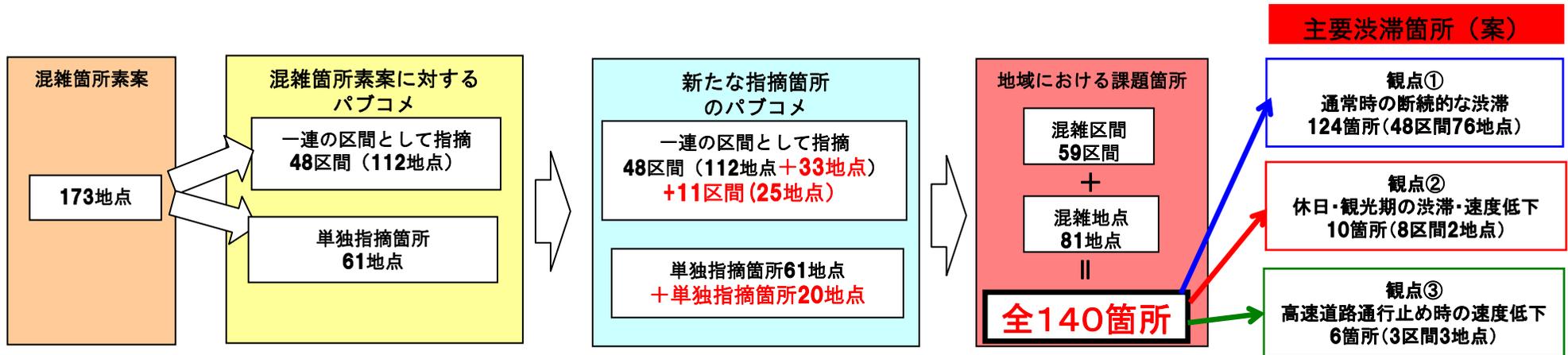
- 市町村および企業から、新たな混雑区間として5区間、新たな混雑地点として7地点、あわせて12箇所について、あらたな指摘があった
- 指摘箇所について時間あたりの最低速度を分析したところ、混雑区間については区間内にあるそれぞれ交差点で流入速度が約10km/h前後となっており、単独混雑地点については流入速度が概ね20km/h以下であり、いずれも低い速度となっていることが確認された

▼新たな指摘箇所の交通状況

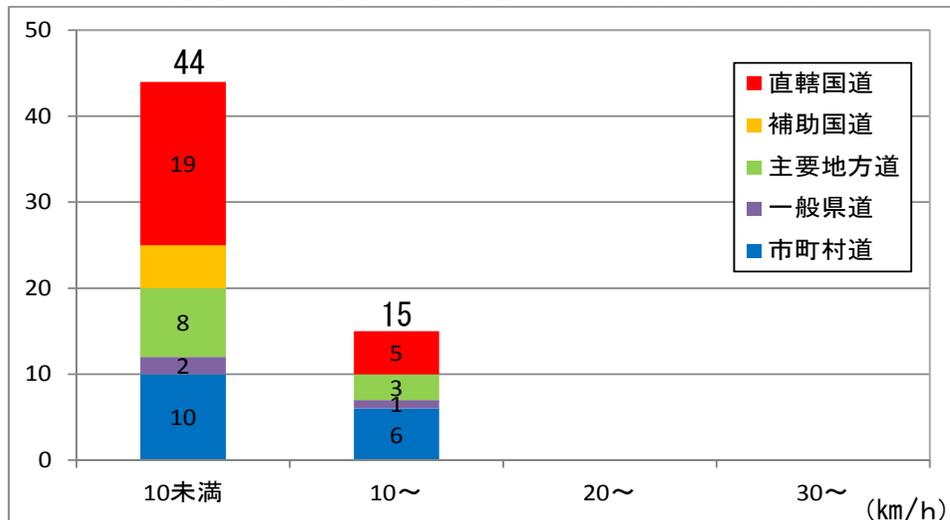


地域における課題箇所の整理

- ・混雑箇所素案とパブコメ結果を踏まえ全140箇所(59区間・81地点)を「地域における課題箇所」として整理
- ・それぞれの箇所における交通状況を分析(交差点流入速度)
- ・各箇所の渋滞が発生する観点毎に分類し、主要渋滞箇所案を作成(観点①124箇所、②10箇所、③6箇所)
- ・主要渋滞箇所については、今回選定されなかった箇所も含め現地の交通状況に応じ適宜フォローを行う



▼混雑区間に含まれる各地点の速度分布(59区間対象)



▼単独混雑地点の交差点流入速度分布(81地点対象)

